

2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年6月5日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7265 URL <https://www.eiken-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105  
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の業績 (2022年11月1日~2023年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	3,611	7.4	68	△67.5	85	△62.2	77	△52.0
2022年10月期第2四半期	3,362	△0.6	211	△37.7	224	△36.0	160	△35.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年10月期第2四半期	76.46		—					
2022年10月期第2四半期	160.14		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	7,334	5,612	76.5
2022年10月期	7,047	5,647	80.1

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 5,612百万円 2022年10月期 5,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の業績予想 (2022年11月1日~2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,738	△3.1	85	△74.9	116	△68.2	98	△64.1	97.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年10月期 2 Q	1,240,000株	2022年10月期	1,240,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2023年10月期 2 Q	226,197株	2022年10月期	231,557株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年10月期 2 Q	1,009,993株	2022年10月期 2 Q	1,004,556株
---------------	------------	---------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、社会経済活動は正常化に向けて回復基調に進み、景気は持ち直しの動きがみられております。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格及び資源・エネルギー価格の高騰並びに世界的な金融引締めによる影響等により、景気の先行きは不透明な状況で続いております。

こうした状況のなかで、フィルター部門の国内におきましては、自動車用フィルター業界は、自動車メーカーの生産ライン、カーディーラーに供給するフィルターメーカー（以下、純正メーカー）とカーショップ、ガソリンスタンド及び整備工場等に供給するフィルターメーカー（以下、市販メーカー）に大きく2つに分かれます。純正メーカーは、取引先の自動車メーカー、カーディーラー以外にも他の自動車メーカーのフィルターを品揃えして、補修用として市販メーカーの納入先にも販売しております。よって、自動車用フィルター市場は、純正メーカー、市販メーカーが入り混じって激しい競争を繰り広げており、特に価格の面では、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されております。輸出におきましては、当社ブランド「VIC」を約40年間、海外の日本車向けに販売しておりますが、日本のフィルターメーカー、海外のフィルターメーカーと品質、価格等で激しい競争を展開しております。さらに、燃焼機器部門におきましては、プレス加工技術を活かし、1976年から風呂釜用バーナを製造するようになり、現在は、厨房機器メーカー、ボイラメーカー及びコインランドリーメーカー等にガスバーナ、熱交換器等を販売しております。

当社は、新規取引先の開拓並びに既存取引先への訪問活動をコロナ禍以前と同等程度に戻しつつも、電話、メール及びWEB会議システム等も積極的に活用し、次のような営業活動を継続してまいりました。フィルター部門において国内では、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、既存取引先との取引拡大に取り組んでまいりました。輸出では、主要輸出先への新製品の提案等の営業活動を強化してまいりました。燃焼機器部門では、取引先から依頼を受けたバーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億48百万円増加し、36億11百万円（前年同四半期比7.4%増）、売上高は増加したものの、原材料価格、梱包資材並びに電力費の上昇等により売上原価が増加したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ1億42百万円減少し、68百万円（前年同四半期比67.5%減）、営業利益が減少したことが要因となり、経常利益は前年同四半期に比べ1億39百万円減少し、85百万円（前年同四半期比62.2%減）、四半期純利益は前年同四半期に比べ83百万円減少し、77百万円（前年同四半期比52.0%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向けが減少したものの、商社向けが増加しました。輸出売上はヨーロッパ向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高は増加したものの、原材料価格、梱包資材並びに電力費が上昇したこと等により売上原価が増加したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億85百万円増加し、34億37百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は前年同四半期に比べ1億16百万円減少し、2億21百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、厨房機器用バーナ及びコインランドリー向けバーナの売上高が減少しました。営業利益に関しては、売上高の減少に伴い生産量が減少したことにより、生産効率が低下したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ37百万円減少し、1億72百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益は前年同四半期に比べ18百万円減少し、8百万円（前年同四半期比68.6%減）となりました。

(その他)

灰皿等の販売をしております。

売上高は前年同四半期に比べ783千円増加し、1,134千円（前年同四半期比222.9%増）、営業損失は広告宣伝費等の経費が増加したことにより2,313千円（前年同四半期は営業損失837千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて2億24百万円増加し、44億29百万円(前事業年度末比5.3%増)となりました。主な要因は、売上債権の回収金額が増加したこと及び電子記録債権制度を採用した取引先が増加したこと等により受取手形及び売掛金が45百万円減少したものの、電子記録債権が1億76百万円増加したこと、出荷対応等による商品の購入が増加したことにより商品及び製品が99百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて62百万円増加し、29億4百万円(前事業年度末比2.2%増)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却等により投資有価証券が24百万円減少したものの、新規機械設備を導入したこと等により機械及び装置が22百万円、繰延税金資産が64百万円、それぞれ増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて2億86百万円増加し、73億34百万円(前事業年度末比4.1%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて2億92百万円増加し、14億20百万円(前事業年度末比25.9%増)となりました。主な要因は、仕入が増加したこと等により支払手形及び買掛金が11百万円、前事業年度末と比べて支払うべき法人税等が増加したことにより未払法人税等が89百万円、当第2四半期累計期間は賞与の支給がなかったことにより賞与引当金が1億31百万円、設備の新設に伴い設備支払手形が49百万円、それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて29百万円増加し、3億1百万円(前事業年度末比10.9%増)となりました。主な要因は、退職給付引当金が32百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて3億22百万円増加し、17億22百万円(前事業年度末比23.0%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて35百万円減少し、56億12百万円(前事業年度末比0.6%減)となりました。主な要因は、四半期純利益を77百万円計上したものの、配当金の支払いが1億10百万円となったことにより利益剰余金が33百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の第2四半期累計期間末残高は、6億82百万円(前事業年度末比1億88百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増減額が1億57百万円の増加となったものの、税引前四半期純利益が1億10百万円となったこと、減価償却費が1億25百万円となったこと及び賞与引当金の増減額が1億31百万円の増加となったことにより、1億38百万円の収入(前年同四半期は3億24百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が5億94百万円となったこと及び有形固定資産の取得による支出が82百万円となったものの、定期預金の払戻による収入が8億24百万円となったことにより、1億63百万円の収入(前年同四半期は35百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が1億10百万円となったことにより、1億13百万円の支出(前年同四半期は2億12百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の業績予想は、当第2四半期累計期間の業績を勘案し、2022年12月9日に公表いたしました数値から変更しております。

なお、当該修正に関する開示は、2023年6月5日公表の「2023年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,356,400	1,315,394
受取手形及び売掛金	1,336,682	1,291,580
電子記録債権	469,183	645,455
商品及び製品	688,136	787,624
仕掛品	42,584	57,959
原材料及び貯蔵品	257,442	299,798
その他	57,146	34,052
貸倒引当金	△1,827	△1,939
流動資産合計	4,205,749	4,429,924
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	955,662	965,868
機械及び装置（純額）	540,570	563,565
その他（純額）	663,588	644,376
有形固定資産合計	2,159,821	2,173,810
無形固定資産	13,467	19,989
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,164	102,323
その他	631,804	609,495
貸倒引当金	△1,542	△1,127
投資その他の資産合計	668,425	710,692
固定資産合計	2,841,714	2,904,492
資産合計	7,047,464	7,334,417

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	394,825	406,425
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	13,453	103,000
賞与引当金	37,193	168,586
その他	222,426	282,472
流動負債合計	1,127,898	1,420,485
固定負債		
退職給付引当金	215,831	247,868
役員退職慰労引当金	2,530	2,530
資産除去債務	10,173	10,173
その他	43,490	41,104
固定負債合計	272,025	301,677
負債合計	1,399,924	1,722,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	397,918	399,685
利益剰余金	5,085,593	5,051,892
自己株式	△521,659	△509,600
株主資本合計	5,563,652	5,543,776
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,886	68,477
評価・換算差額等合計	83,886	68,477
純資産合計	5,647,539	5,612,254
負債純資産合計	7,047,464	7,334,417



(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)
売上高	3,362,910	3,611,092
売上原価	2,798,255	3,165,798
売上総利益	564,655	445,293
販売費及び一般管理費	352,759	376,395
営業利益	211,895	68,897
営業外収益		
受取利息	1,254	1,121
受取配当金	3,340	3,725
投資有価証券評価益	—	2,975
投資有価証券償還益	—	34
受取賃貸料	6,796	6,789
その他	3,720	3,169
営業外収益合計	15,112	17,814
営業外費用		
支払利息	1,091	949
投資有価証券評価損	757	—
その他	342	677
営業外費用合計	2,191	1,626
経常利益	224,816	85,084
特別利益		
固定資産売却益	169	45
投資有価証券売却益	—	28,186
補助金収入	3,471	—
保険解約返戻金	1,501	—
特別利益合計	5,142	28,231
特別損失		
固定資産売却損	90	—
固定資産除却損	428	3,192
特別損失合計	519	3,192
税引前四半期純利益	229,438	110,124
法人税、住民税及び事業税	114,042	90,445
法人税等調整額	△45,475	△57,548
法人税等合計	68,567	32,897
四半期純利益	160,871	77,226

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	229,438	110,124
減価償却費	125,578	125,088
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,952	32,037
賞与引当金の増減額 (△は減少)	129,238	131,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△161	△303
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,855	—
受取利息及び受取配当金	△4,594	△4,846
支払利息	1,091	949
固定資産売却損益 (△は益)	△78	△45
固定資産除却損	428	3,192
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△28,186
投資有価証券評価損益 (△は益)	757	△2,975
保険解約返戻金	△1,501	—
補助金収入	△3,471	—
売上債権の増減額 (△は増加)	113,362	△134,607
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△161,932	△157,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,934	11,600
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△48,551	9,827
その他	△8,825	41,267
小計	448,811	137,297
利息及び配当金の受取額	4,838	4,817
利息の支払額	△1,083	△979
法人税等の支払額	△131,131	△2,943
補助金の受取額	3,471	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,906	138,192
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△413,500	△594,500
定期預金の払戻による収入	472,000	824,000
有形固定資産の取得による支出	△103,653	△82,652
有形固定資産の売却による収入	173	45
有形固定資産の除却による支出	—	△3,021
投資有価証券の取得による支出	△336	△16,650
投資有価証券の売却による収入	—	44,004
投資有価証券の償還による収入	—	5,000
無形固定資産の取得による支出	—	△8,974
保険積立金の積立による支出	△5,829	△3,578
保険積立金の解約による収入	15,163	—
その他の支出	△150	△250
その他の収入	406	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,725	163,662

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70,000	—
リース債務の返済による支出	△1,771	△2,371
自己株式の取得による支出	—	△106
配当金の支払額	△140,238	△110,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,010	△113,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	630	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,801	188,493
現金及び現金同等物の期首残高	589,723	493,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	667,524	682,144

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	1,648,785	172,185	1,820,971	1,134	1,822,105	—	1,822,105
海外	1,788,986	—	1,788,986	—	1,788,986	—	1,788,986
顧客との契約から 生じる収益	3,437,772	172,185	3,609,957	1,134	3,611,092	—	3,611,092
外部顧客への 売上高	3,437,772	172,185	3,609,957	1,134	3,611,092	—	3,611,092
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,437,772	172,185	3,609,957	1,134	3,611,092	—	3,611,092
セグメント利益又は 損失(△)	221,405	8,669	230,074	△ 2,313	227,761	△158,863	68,897

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上